

松本市商店街歩行者通行量調査結果報告概要

平成 27 年度（2015 年度）の歩行者通行量調査は春と秋の二回、6 月 7 日（日）と 10 月 25 日（日）に松本市商店街全 50 個所で行われた。天候・気温は下記表 1 のとおりであった。天候は両日とも晴であり、良い気候であった。

調査対象は、中学生以上の歩行者と自転車（3 輪も含む）で、小学生以下と判断される子供とバイクや車は入っていない。調査は調査員による人手調査であり、午前 10 時から午後 6 時までの 8 時間を対象とし、一時間の前半 30 分を計測し補完法によって毎時ごとの一時間分のデータを作成した。

表 1. 調査日

調査日	天候	最高気温	最低気温
6 月 7 日(日)	晴	26.1℃	8.9℃
10 月 25 日(日)	晴	16.0℃	6.0℃

調査地点 50 個所を地区に分類し、地区ごとの通行量の集計も行った。目印となる建物の変化で調査地点名が変わった場所もあるが、地図上の位置は例年同じである。

2015 年度の調査結果も 2014 年度同様に多くの地点（50 地点中 39 地点）で、秋の通行量が春の通行量を上回っている。最近 2 年間の通行量調査では、2013 年度の秋に通行量が大幅に減少し、2014 年度の調査では 2012 年度並に増加した調査地点が多くあった。果たして今年度の結果が昨年度の増加の揺り戻しで 2013 年度並に落ち込むか、昨年度並みを維持するかどうかはトレンドと揺らぎを判断するための重要なポイントであった。

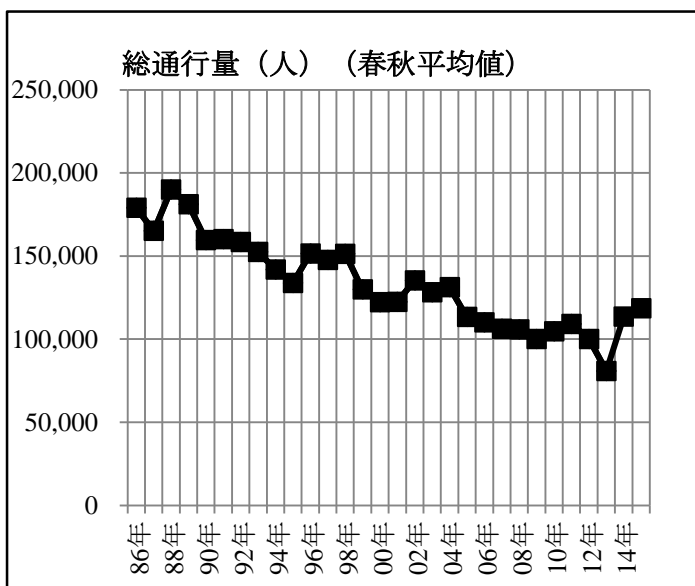


図 1 平均通行量の総数の推移

今年度の結果は多くの地点で昨年度の結果を上回る通行量となった。このことから、大幅に減少した 2013 年度の結果は、秋の調査日が天候に恵まれず特に人出の少ない特異日であった影響が大きく、トレンドとしては通行量の緩やかな増加傾向にあると考えられる。

図 1 が、春と秋の平均をとった総通行量の推移である。2015 年度の結果は、大きく増加した 2014 年度の調査結果からさらに増加し、春と秋の総合計人数で 236,999 人（昨年は 227,089 人）、一日の平均で 118,499.5 人（昨年は 113,544.5 人）であった。図 1 に見られるように、総通行量は 1986 年度の調査開始以来ほぼ一定の割合で減少してきたが、その傾向が 2009 年頃に下げ止まり、2010 年度 2011 年度と緩やかではあるが増加傾向に転じている。2013 年度は大きく減少したが 2014 年度は大きく増加し、2015 年度はさらに増加している。つまり、2013 年度の結果だけみると 1986 年度以来の直線的な減少傾向の延長線上にはあるように見えるが、2014 年度 2015 年度の結果はむしろ 2009 年度から 2011 年度の増加傾向の延長線上にある。したがって、2013 年度の大きな落ち込みは秋の調査日の天候による特異な結果であり、現在の通行量のトレンドは 2009 年度以降の緩やかな増加傾向にあると考えて良いであろう。

地区平均の変化に関しては、通行量の観測値は年ごとに振動する傾向があるが、昨年度多くの地区で通行量は増加し、今年度はわずかな増加か減少であった地区が多かった。その中で西五町は昨年の増加に加えて 2015 年度は 49.4% の増加があり、通行量が昨年比で 1.5 倍であった点は顕著であった。

ここでは、2015 年度松本市商店街通行量調査の結果を考察した。1986 年度の調査開始以来の長い期間で見ると松本市商店街全体の通行量には減少傾向がみられる。この傾向は、2008 年度以降の 7 年間に限れば、減少の程度は非常に弱くなってきており、下げ止まったように見える地点や地区もあった。

2013 年度調査では、通行量は多くの地点で 2012 年度よりも減少し、全体としては、1986 年度以降続く一定の割合で減少する直線にきれいに乗る結果となったが、2014 年度にはほとんどすべての地点で通行量が増加した。今年度も多くの地点で増加が続いた結果 2013 年度のデータを特異なものとして除けば、近年の下げ止まりから緩やかな増加傾向への変化が表れていると考えて良いであろう。

次年度調査も特異な天候の影響によらない環境で行われ、松本市商店街の通行量がさらに増加していることを期待したい。